

## 浪華写真倶楽部沿革

### 明治 37 年 (1904 年)

\* 1 月 9 日桑田正三郎が石井吉之助と共に浪華写真倶楽部 (以下浪華) 創立式を難波駅前の明月楼に於て行。当日の来会者は、一之木清次郎、石津月舟、砂川雄俊、奥戸自得、薄怒一、大西素州、横尾重之、古田友芳、慮田閑月、若林春江等

### 明治 39 年 (1906 年)

\* 大阪博物場 (現貿易館) で第 1 回浪展が開催 (6 月)。

### 明治 41 年 (1908 年)

\* 同会場で第 2 回浪展を行い会員 28 名 110 枚余の出品。早くも第 3 回展を 10 月開催、浪華第 1 期亢奮期の始まりであった。  
\* 第 4 回展より審査は会員で行うことになった。倶楽部の機関誌として桑田商会から「写真界」と「写真例題集」が発行。

### 大正 3 年 (1914 年)

\* 創立 10 周年記念祝賀会 (11 月 28 日) を住吉公園瓢々亭で開催。

### 大正 6 年 (1917 年)

\* 第 8 回浪展が三越で行われた。

### 大正 10 年 (1921 年)

\* 浪展が大正 6 年第 8 回展でぼつと燃焼したきりで数年間のひどいスランプが続いたが、浪展更生の幹部会が招集され、席上種々熟議の結果、権威ある審査制度の設定と浪展会場の固定の二項を決定し、審査員に横山錦溪、梶原啓文、米谷紅浪が就任し、会場は地理上三越が最適ということで折衝にあたり、その後昭和 26 年第 4 回五倶楽部合同展まで、浪展は三越ということで長らく行われることになった。  
第 10 回展の募集をしたところ、会員出品 150 点、会員外 213 点の応募があり審査の結果入選 99 点、入選率も会員 40%、会員外 14% という厳選さであった。印刷内容はゴム印画 25 点、オイル 10 点、プロマイド 64 点であり、出品作の大半は売却。  
この 10 回展から第 2 亢奮期を迎えることになる。そして多くの新人作家を輩出し、作品内容も静的なものから動的なものに移行。

### 大正 12 年 (1923 年)

\* 第 1 回東京展を東京の森一兵、福原信三の発起で銀座資生堂にて 8 月 3 日～6 日開催。梅阪鷺里、福森白洋の清新さ、米谷紅浪、梶原啓文、横山錦溪等の作品が絶賛をあげ盛大裡に終了。

### 大正 15 年 (1926 年)

\* 浪華創立者桑田正三郎が古希の賀に奨励資金を寄贈したので、氏号の号をとり展覧会「写翁賞」を設立し、これは終戦まで続けられた。  
\* 第 15 回浪展を開催。

### 昭和 3 年 (1928 年)

\* 創立 25 周年を迎えて 1 月に祝賀会を行い、多年の功績に桑田正三郎に感謝状を贈呈、2 月に物故会員追悼会及び記念写真展、5 月に第 17 回浪展。  
\* 12 月「写真界」が都合により休刊。

### 昭和 4 年 (1929 年)

\* 「写真界」の廃刊に代わり名実共に浪華の機関誌たる「会報」が発行。

### 昭和 6 年 (1931 年)

\* 第 20 回浪展を 5 月 26 日～30 日 三越にて開催

### 昭和 7 年 (1932 年)

\* 10 月 14 日～16 日に東京展。  
小石清著『初夏神経』発行。アルミ表紙とともに内容も最先端の傑作集である。  
\* 11 月 2 日浪華創立者であり、最大の功労者たる桑田三正郎死去。

### 昭和 8 年 (1933 年)

\* 創立 30 周年を迎える。  
\* 第 22 回浪展を 8 月 25 日～27 日大阪三越にて開催。東京展を 11 月 2 日～ 4 日東京小西六本店にて開催。  
\* 3 月 5 日写翁追悼及び 30 周年回顧座談会を綿業会館に於て開催。  
出席者 桑田一郎、勝汀舟、横尾重之、西井燕山、上田備山、小林鳴村、安井仲治、小石清、花和銀吾、小山孝太郎  
\* 30 周年を記念して歴代受賞者氏名を刻む表彰碑を作成。

### 昭和 17 年 (1942 年)

\* 訃報 福森白洋 3 月 3 日死去、56 歳。  
安井仲治 3 月 15 日死去、38 歳。  
桑田一郎 10 月 18 日死去、60 歳。

### 昭和 18 年 (1943 年)

\* 6 月上記三会員の追悼号を出版。  
\* 40 周年記念第 32 回展を 8 月 25 日～9 月 1 日東京新宿三越に於て開催。続いて大阪展を 9 月 11 日～ 15 日大阪三越にて開催。

### 昭和 21 年 (1946 年)

\* 上田備山、田中正親、本庄光郎、中藤敦、中森三弥等が相計り浪華の再建に尽力。

### 昭和 23 年 (1948 年)

\* 戦後第 1 回の浪展を在阪丹平、地壤社、大研、稚草社、浪華の 5 倶楽部合同展として大阪三越にて開催 (浪華としては第 33 回展)、昭和 26 年まで合同で 4 回開催。

### 昭和 27 年 (1952 年)

\* 戦後第 1 回の東京展 (第 37 回展) を東京日本橋本展にて開催。

### 昭和 28 年 (1953 年)

\* 創立 50 周年記念第 38 回浪展を 10 月 19 日～24 日、単独で富士フィルムギャラリーの誕生と共に大阪本町にて開催。

### 昭和 29 年 (1954 年)

\* この年より表彰制度を復活、例会、展覧会共に表彰を行った。

### 昭和 30 年 (1955 年)

\* 「会報」復刊第 1 号を発刊する。口絵として代表的なオリジナルプリントを貼付。編集・高田誠三、津田洋保

### 昭和 32 年 (1957 年)

\* 訃報 花和銀吾 3 月 16 日死去。小石清 死去。

### 昭和 33 年 (1958 年)

\* 創立 55 周年記念第 43 回浪展を 10 月 21 日～27 日、富士フィルムギャラリーにて開催。回顧記念作品として、梅坂篤里、小石清、米谷紅浪、薄雷山、花和銀吾、三木華幸、安井仲治等の作品を展示。

\* 会報 No.3 発行 花和銀吾、小石清追悼号

### 昭和 35 年 (1960 年)

\* 第 45 回展を 12 月 6 日～12 日、富士フォトギャラリーで開催。

### 昭和 36 年 (1961 年)

\* 東京展 (第 46 回展) を 2 月 10 日～15 日、銀座小西六ギャラリーで開催。

\* 第 47 回展を 11 月 28 日～12 月 4 日、富士フォトギャラリーで開催。

### 昭和 37 年 (1962 年)

\* 第 48 回展を 11 月 27 日～12 月 3 日、富士フォトギャラリーで開催。

\* 会報にカラー口絵 (最高作品) の印刷を始める。

\* 今年より従来の「推薦賞」を「浪華賞」に変更。

### 昭和 38 年 (1963 年)

\* 創立 60 周年記念事業として写真集『浪』の発刊を、企画準備委員を設け準備に入る。

\* 富士フォトギャラリーの閉鎖により浪展の開催が出来ず中止 (昭和 41 年まで)

### 昭和 41 年 (1966 年)

\* 写真集 創立 60 周年記念写真集『浪』7 月 1 日発行  
会員写真集としては創立以来初めての作品集を、日本の写真倶楽部として最初に発行。国外、国内の有名図書館及びマスコミ関係、写真関係者に贈呈して大きな話題をよんだ。出版に際しては平野博士、土屋雅昭氏にお世話になった。

編集委員・荻野正夫、高田誠三、関岡昭介、藤波一成、津田洋保

\* 祝賀会「創立 60 周年及び写真集浪発刊記念祝賀会」大阪・梅田、大阪観光ビル 7/23

関西写壇の有名作家を招待して記念パーティを盛大に開催。出席者 120 名余

\* 最高作品賞

○モノクロ最高作品賞「分校日記」組 岡本美知子  
次点「渚」吉田敏昭

○カラー最高作品賞「夏の宵」吉田敏昭  
次点「高原の俊明け」藤波一成

### 昭和 42 年 (1967 年)

\* 第 49 回浪展 6 月 29 日～7 月 4 日、大阪心齋ごう百貨店、2 階ギャラリーで開催。

中藤敦遺作展、併催。

\* 浪展浪賞、該当作品なし

\* 最高作品賞

○モノクロ最高作品賞「海に祈る」関岡昭介  
次点「葬列」津田洋保

○カラー最高作品賞「雪中に働く」津田洋保  
次点「タウン」吉田敏昭

### 昭和 43 年 (1968 年)

\* 歴代表彰牌

二科会会員、奥田秀雄氏制作 (立像ブロンズ製) 題字、田中正親

浄財で賄われた。感謝を込めて氏名を明記する。

\* 浪展浪華賞「Katharsis」関岡昭介

\* 最高作品賞

○モノクロ最高作品賞「雪の里より」関岡昭介  
次点「祭りの若衆」藤波一成

○カラー最高作品賞「たそがれの里」金曾司呂  
次点 該当作品なし

### 昭和 44 年 (1969 年)

\* 浪展浪賞 該当作品なし

\* 最高作品賞

○モノクロ最高作品賞 該当作品なし

次点「郵送隊」中藤譲、「遺体収集」池永功

○カラー最高作品賞「壬生狂言」組 中藤譲  
次点「賽の川原」組 信賀京一

### 昭和 45 年 (1970 年)

\* 浪展浪華賞 該当作品なし

\* 最高作品賞

○モノクロ最高作品賞「素囃子」中藤譲  
次点「フェイス」岡本美知子

○カラー最高作品賞「花ある墓標」加茂栄二  
次点「水結」坂本正勝

### 昭和 46 年 (1971 年)

\* 第 51 回浪展

12 月 15 日～12 月 21 日 大阪梅田阪神百貨店 8 階ギャラリー会場が無いことからしばらく開催が出来なかったが、久しぶりの浪展を開催することになった。

\* 浪展浪華賞「林」中村泰三

\* 最高作品賞

○モノクロ最作品賞「馬に乗った医者」組 吉田敏昭  
次点「死の川」組 西端正典

○カラー最高作品賞 該当作品なし

次点「祭りごと」組 中藤譲、「土桶焼」中藤譲

### 昭和 47 年 (1972 年)

\* 第 52 回浪展 11 月 16 日～11 月 21 日 大阪梅田阪神百貨店 8 階ギャラリー

\* 浪展賞浪華賞 該当作品なし

\* 最高作品賞

○モノクロ最高作品賞 該当作品なし

- 次点「仁鶴」吉田敏昭、「うたは心の明り」野村晃弘
- カラー最高作品賞 該当作品なし
- 次点「北の詩」吉田敏昭、「ヨーロッパの動物達」加茂栄三

### 昭和 48 年(1973 年)

- \*浪展 明年の創立 70 周年を記念して「いのち」をテーマとして、大写真展開催準備のためこの年は中止。
- \*最高作品賞
- モノクロ最高作品賞 「水俣記」中藤譲
- 次点「異性」野村晃弘
- カラー最高作品賞「夜的高速道路」加茂栄三
- 次点「ポーフラの群」小原明男

### 昭和 49 年(1974 年)

- \*第 53 回浪展
- 4 月 8 日~6 月 9 日 大阪難波ギャラリーミドー
- 創立 70 周年記念 9 週間連続展
- 第 1 週 4/8~4/14 「仁鶴、三枝、きよし」吉田敏昭 個展
- 第 2 週 4/15~4/21 「林」津田洋保 個展
- 第 3 週 4/22~4/28 「無影灯(ある外科医の記録)」藤波一成 個展
- 第 4 週 4/29~5/12 「光景」関岡昭介 個展
- 第 5 週 5/6~5/12 「旅の詩」加茂栄三・「野辺の生物」小原明男 二人展
- 第 6 週 5/13~5/19 「佐渡」中藤譲 個展
- 第 7 週 5/20~5/27 「日記」西端正典・「ある青春」野村晃弘 二人展
- 第 8 週 5/28~6/2 「四季の彩」高田誠三 個展
- 第 9 週 6/3~6/9 「選抜 18 人展」本庄光郎、中森三弥、浅野雅祥、井ノ上泰雄、中村泰三、辻田秀雄、林俊夫、坂本正勝、岡本美知子、金曾司呂、藤原一、布施雅隆、伊ヶ崎光雄、蒲生国昭、垂水章、峯勝郎、久保誠与志、中藤毅

- \*浪展浪華賞「an apple」金曾司呂
- \*最高作品賞
- モノクロ最高作品賞「大阪区分図」組 伊ヶ崎光雄
- 次点「旅行記」伊ヶ崎光雄
- カラー最高作品賞「ある日の越前海岸」小原明男
- 次点「北国旅情」組 加茂栄三
- \*会員の個展
- ・中藤敦回顧展「ピグメントフォト」東京・新宿ニコンサロン 9/17~9/23
- ・中藤譲「佐渡」東京・新宿ニコンサロン 5/21~5/27
- ・関岡昭介「白い抒情」東京・銀座ニコンサロン 7/30~8/4
- ・加茂栄三「旅の詩」東京・日本発色ギャラリー 9/2~9/14
- ・高田誠三「四季の彩」東京・新宿ニコンサロン 11/5~11/11

### 昭和 50 年(1975 年)

- \*第 53 回浪展
- 1 月 5 日~1 月 10 日 創立 70 周年記念(9 週間連続展)の総集編 大阪・大阪府民ギャラリー
- \*第 54 回浪展
- 8 月 29 日~9 月 4 日大阪心齋橋ピルゼンギャラリー
- \*浪展浪華賞「婉」西端正典
- \*最高作品賞

- モノクロ最高作品賞「老少不定」岡本美知子
- 次点「光景」吉川隆之
- カラー最高作品賞「晩秋」小原明男
- 次点「時間の詩」加茂栄三
- \*会員の個展
- ・安井仲治回顧展
- ・関岡昭介「白い抒情」大阪・心齋橋ニコンサロン 2/1~2/7
- ・関岡昭介「気になる風景」東京・新宿ニコンサロン 5/13~5/19
- ・故中藤敦「回顧展」大阪・心齋橋ニコンサロン 2/9~2/15
- ・津田洋保「林」東京・八重洲月光三菱ギャラリー 4/24~5/6
- ・伊ヶ崎光雄「大阪区分図」東京・銀座ニコンサロン 11/4~11/9
- 大阪・心齋橋ニコンサロン 12/1~12/7



浪華写真倶楽部表彰碑 奥田秀雄作

### 昭和 51 年(1976 年)

- \*第 55 回浪展
- 9 月 16 日~9 月 21 日大阪心齋橋ピルゼンギャラリー
- \*浪展浪賞
- 該当作品なし
- \*最高作品賞
- モノクロ最高作品賞 該当作品なし
- 次点「冬の旅」加茂栄三、「動物園」吉川隆之
- カラー最高作品賞 該当作品なし
- 次点「こけしの詩」加茂栄三、「残映」吉川隆之
- \*会員写真集
- ・吉田敏昭著 写真・文『木曾路』朝日ソノラマ刊

### 昭和 52 年(1977 年)

- \*第 56 回浪展
- 9 月 1 日~9 月 6 日 大阪心齋橋ピルゼンギャラリー
- \*浪展浪華賞「続・蒼生祈」加茂栄三
- \*最高作品賞
- モノクロ最高作品賞 「村の記憶」藤原一
- 次点「寒い日」岡本美知子
- カラー最高作品賞 該当作品なし
- 次点「分校の朝」吉川隆之、「晩秋の尾瀬」野村晃弘
- \*会員の個展
- ・加茂栄三「こけしの詩」
- 東京・八重洲月光三菱ギャラリー 7/15~7/23
- ・津田洋甫「樹と林」大阪・梅田富士フォトサロン 10/21~10/27
- ・関岡昭介「大阪環状線一駅からの眺め」新宿ニコンサロン 11/29~12/5

### 昭和 53 年(1978 年)

- \*第 57 回浪展
- 10 月 12 日~10 月 17 日 大阪心齋橋ピルゼンギャラリー
- \*浪展浪華賞 該当作品なし
- \*井ノ上賞「生と死」小原明男

\* 最高作品賞

○モノクロ最高作品賞「京都炎陽」関岡昭介

次点「学校」吉川隆之

○カラー最高作品賞「尾瀬・冬へ」野村晃弘

次点「冬の海」津田洋甫

\* 会員の個展

・加茂栄三「こけしの詩」奈良・ラ・ポーラギャラリー 1/28～2/3

・吉川隆之「白い世界」奈良・ギャラリー青助 2/11～2/17

・関岡昭介「大阪環状線－駅からの眺め」大阪・ニコンサロン 6/9～6/15

・加茂栄三「蒼生祈」東京・新宿ニコンサロン 12/5～12/11

## 昭和 54 年(1979 年)

\* 第 57 回浪展

東京展 4 月 10 日～4 月 16 日 東京・日本橋小西六  
フォトギャラリー

\* 第 58 回浪展

10 月 11 日～10 月 16 日 大阪心齋橋ピルゼン  
ギャラリー

\* 浪展浪華賞 該当作品なし

\* 井ノ上賞 「聖地の朝」伊ヶ崎光雄

\* 最高作品賞

○モノクロ最高作品賞「京都町中」吉川隆之

次点「帝国」藤原一

○カラー最高作品賞 該当作品なし

次点「反映」組 岡本美知子、「夏の忘れ物」組 峯  
勝朗

\* 会員の個展

・本庄光郎 回顧展 大阪・梅田富士フォトサロン 3/2  
～3/8

\* 浪華 プラス展 大阪心齋橋ピルゼンギャラリー  
4/19～4/24

出品者 藤原一、布施雅隆、大石啓雅、西端正典、吉川  
隆之、峯勝朗、寺井次郎、野村晃弘

## 昭和 55 年(1980 年)

\* 第 58 回浪展

東京展 4 月 22 日～4 月 28 日 東京・日本橋小西六  
フォトギャラリー

\* 第 59 回浪展

大阪心齋橋ピルゼンギャラリー 10/9～10/14

\* 浪華回顧展

(戦前の部) 10 月 1 日～10 月 7 日 大阪・長堀橋クワダ  
フォトギャラリー

(戦後の部) 10 月 8 日～10 月 14 日 大阪・長堀橋クワ  
ダフォトギャラリー

クワダフォトギャラリーオープン記念

明治 37 年 1 月、浪華は桑田商会創始者、桑田正三郎の  
肝いりで創立したが今回クワダフォトギャラリー開設  
記念として、因縁あさからぬ浪華の回顧展を開催する  
ことになった。安井仲治、小石清、花和銀吾等の名作を  
展示した戦前の部、そして、現会員の年度代表作品を網  
羅した数々の作品は浪華の足跡を示した素晴らしい写  
真展であったと思う。

余談であるがこの浪展の影響で女性会員が多数入会す  
ることとなった。

\* 浪展浪華賞 該当作品なし

\* 最高作品賞

○モノクロ最高作品賞 「インドネパールの人々」組 伊  
ヶ崎光雄

次点「廃屋」組、寺井次郎

○カラー最高作品賞 「蒼生祈・第 2 部」組 加茂栄三

次点「暑い永い一日が終わりかけて」組 吉川隆之

\* 会員の個展

・津田洋甫「POEMS OF TREES」 N・Y・ローニンギ  
ャラリー 2/5～2/25

・伊ヶ崎光雄「聖仙の国」 東京・新宿ニコンサロン 5/6  
～5/12

・浪華 プラス展 大阪心齋橋ピルゼンギャラリー 5/15  
～5/20

出品者 藤原一、布施雅隆、大石啓雅、西端正典、吉川  
隆之、峯勝朗、寺井次郎、中藤譲、永野秋広

・中藤譲・加茂栄三展「河内飛鳥」「こけしの詩」

大阪・富士フォトサロン 6/20～6/26

・吉川隆之「ケイコ 2 年 5 ヶ月」奈良・ギャラリー青助  
7/18～7/30

・高田誠三「日本の四季」

ベルギー・ニーベル 9/26～10/19

フランス・サントス 11/8～11/16

津田洋甫 N・Y 展ではメトロポリタン美術館に 5 作品  
が日本人として初めて收藏される。

高田誠三展では第 8 回写真芸術国際ビエンナーレで  
1980 年 5 大陸 5 作家に選ばれる。また、フランス、ベ  
ルギー両国よりメダル及び賞を受ける。

## 昭和 56 年(1981 年)

\* 第 60 回浪展

5 月 11 日～8 月 9 日大阪・長堀橋クワダフォトギャ  
ラリー

60 回展記念 11 週連続展

第 1 週 5/11～5/17 「蒼生祈」加茂栄三、「はじまり  
の断片」吉川隆之 二人展

第 2 週 5/18～5/24 「ルルドの泉」中藤譲、「蝶」小  
原明男 二人展

第 3 週 5/25～5/31 「みちのく冬景色」吉田敏昭、  
「午風断章」藤原一 二人展

第 4 週 6/1～6/7 「回想・・・80」中森三弥、「原始へ  
の旅」伊ヶ崎光雄 二人展

第 5 週 6/8～6/14 「雅楽」浅野雅祥、「夕日」井ノ上  
泰雄、「秋の風景」坂本正勝、「ナイト・イン・中之島」  
古市真一 四人展

第 6 週 6/15～6/21 「旅のスケッチ」高田誠三、「閉ざ  
された日記」布施雅隆 二人展

第 7 週 6/22～6/28 「浪花花図」中村泰三、「春を待つ  
季節」大石啓雅 二人展

第 8 週 7/13～7/19 「五能線」岡本美知子、「チャイナ・  
タウン」西端正典 二人展

第 9 週 7/20～7/26 「飛鳥幻日」安達茂、「信濃路」久  
保誠与志、「春に咲く」信賀京一、「雲のある風景」辻一  
嘉、「海 陸 風」峯勝朗 五人展

第 10 週 7/27～8/2 「日本の自然 水」津田洋甫、「尾  
瀬」野村晃弘 二人展

第 11 週 8/3～8/9 「風景論」藤波一成、「横町」寺井  
次郎 二人展

総集展 10/8～10/13 大阪心齋橋ピルゼンギャラリー

\* 浪展浪華賞「浪花絵図」中村泰三

\* 最高作品賞

○モノクロ最高作品賞「国東物語 part IV」加茂栄三

- 次点「春告鳥のころ」藤原一
- カラー最高作品賞「国東物語 part II」加茂栄三
- 次点「時刻」津田洋甫
- \*会員の個展
- ・岡本美知子「四季の旋律」東京・キャノンサロン 4/6~4/11
- 広島・キャノンサロン 5/6~5/15
- 大阪・キャノンサロン 6/1~6/12
- 名古屋・キャノンサロン 6/22~7/3
- ・伊ヶ崎光雄「原始への旅」東京・新宿ニコンサロン 9/22~9/26
- 東京・大阪心齋橋ギャラリー 6/1~6/4

### 昭和 57 年(1982 年)

- \*浪展 東京展 8月3日~8月9日 東京・日本橋小西六フォトギャラリー
- \*第61回浪展 10月7日~10月12日 大阪・心齋橋ピルゼンギャラリー
- \*浪展浪華賞 該当作品なし
- \*最高作品賞
- モノクロ最高作品賞「語部」組 大石啓雅
- 次点「京都町中」組 吉川隆之
- カラー最高作品賞 該当作品なし
- 次点「愁色北野町」組 加茂栄三、「海岸物語」組 野村晃弘
- \*会員の個展
- ・伊ヶ崎光雄「ザ・レスラーその光と陰」東京・新宿ニコンサロン 6/15~6/21
- 大阪・心齋橋ソニータワー
- ・浪華プラス展 大阪心齋橋ピルゼンギャラリー
- 出品者 藤原一、布施雅隆、大石啓雅、西端正典、吉川隆之、寺井次郎、野村晃弘、久保誠与志
- \*会員の写真集
- ・伊ヶ崎光雄『ザ・レスラーその光と陰』『オフ・ザ・リング』『続オフ・ザ・リング』 白夜書房刊

### 昭和 58 年(1983 年)

- \*第62回浪展 10月6日~10月11日 大阪・心齋橋ピルゼンギャラリー
- \*浪展浪華賞 該当作品なし
- \*最高作品賞
- モノクロ最高作品賞「市井の人」組 寺井次郎
- 次点「人の世」組 関岡昭介
- カラー最高作品賞「ガラスの器」組 布施雅隆
- 次点「夏の日」組 松本久子
- \*会員の個展
- ・高田誠三「自然の彩」
- 東京・銀座 キャノンサロン 4/5~4/10
- 大阪・梅田 キャノンサロン 4/19~4/30
- その他 広島・名古屋・札幌・宮崎で開催
- ・高田誠三「街」大阪・梅田フォトサロン 4/23~4/29
- 東京・スキヤ橋 富士フォトサロン 5/28~6/3
- ・津田洋甫「水を讃う」大阪・梅田 富士フォトサロン 6/11~6/17
- 東京・スキヤ橋 富士フォトサロン 7/2~7/15
- ・関岡昭介「泥の河」東京・銀座 ニコンサロン 8/24~8/29
- ・伊ヶ崎光雄「流れ行く半島」東京・新宿ニコンサロン 11/22~11/28
- ・加茂栄三「国東物語」東京・銀座 キャノンサロン

- 11/7~11/12
- 大阪・梅田キャノンサロン 12/5~12/10
- その他 広島、札幌で開催
- ・久保誠与志「湖」 滋賀・大津市 NHK ギャラリー
- ・「浪華 10 人展」 大阪・梅田 富士フォトサロン 7/8~7/14
- 出品者 藤原一、布施雅隆、大石啓雅、西端正典、吉川隆之、寺井次郎、野村晃弘、久保誠与志、坂本正勝、辻一嘉

### 昭和 59 年(1984 年)

- \*浪展 東京展 8月3日~8月9日 東京・日本橋小西六フォトギャラリー
- \*第63回浪展
- 創立80周年記念展
- 第1会場 大阪・梅田アクティ大阪
- 大阪 21世紀計画キャンペーンセンター11/2~11/8
- (大阪の祭りと行事・大阪今昔・芸能・人・自然)
- 第2会場 大阪・梅田 キャノンサロン (下町と新しい街の生活) 11/5~11/10
- 第3会場 大阪・梅田 富士フォトサロン (大阪百景) 11/2~11/8
- 後援/大阪府、大阪市、大阪21世紀協会、キャノン販売(株)、富士写真フィルム(株)
- \*浪展浪華賞「都市空間」大石啓雅、「青春グラフィティ」稲葉一栄
- \*最高作品賞
- モノクロ最高作品賞「都市空間」大石啓雅
- 次点「市井の人」組 寺井次郎
- カラー最高作品賞 該当作品なし
- 次点「空間の叙情」組 桜井智子、「トワイライトシティー」組 吉川隆之
- \*会員の個展
- ・中森三弥「花ごのみ・夜の抄」
- 大阪・梅田富士フォトサロン 4/5~4/10
- ・高田誠三「光の旋律」
- 東京・新宿ミノルタフォトスペース
- 大阪・梅田ミノルタフォトスペース 4/12~4/25



終身個人表影牌 (井ノ上泰雄)

### 昭和 60 年(1985 年)

- \*第64回浪展 10月10日~10月15日 大阪・心齋橋ピルゼンギャラリー
- \*浪展浪華賞 該当作品なし
- \*最高作品賞
- モノクロ最高作品賞「灰色街区」組 大石啓雅
- 次点「蒼生祈拾遺」組 加茂栄三
- カラー最高作品賞「若者達」組 坂本正勝
- 次点「古里日記」組 桜井智子
- \*会員の個展
- ・津田洋甫「四季百樹の詩」

大阪・梅田 大丸ミュージアム(有料) 2/20~2/25 主催/産経新聞社

- ・岡本美知子「自然のよそおい」  
東京・スキヤ橋 富士フォトサロン 8/16~8/22
- 大阪・梅田 富士フォトサロン 9/13~9/19
- \*会員の写真集
- ・津田洋甫写真集 『木の色・風の色』 フジアート出版刊

### 昭和 61 年(1986 年)

- \*第 65 回浪展 10 月 9 日~10 月 14 日 大阪・心齋橋ビルゼンギャラリー
- \*浪展浪華賞 該当作品なし
- \*最高作品賞
- モノクロ最高作品賞 「夢死感」組 大石啓雅  
次点「流れの中で」組 佐藤順子
- カラー最高作品賞「かざぐるまからからと」組 関岡昭介  
次点「首のない犬と足のない鳩と」組 藤原一
- \*会員の個展
- ・津田洋甫「四季百樹の詩」  
横浜・高島屋アートギャラリー 3/27~4/1 主催/神奈川新聞社
- ・津田洋甫「四季百樹の詩」東京・池袋 西武アートフォーラム(有料) 7/25~8/6 主催/産経新聞社
- \*会員の写真集
- ・津田洋甫写真集『四季百樹の詩』フジアート出版刊

### 昭和 62 年(1987 年)

- \*第 66 回浪展 10 月 8 日~10 月 13 日 大阪・心齋橋ビルゼンギャラリー
- \*浪展浪華賞 該当作品なし
- \*最高作品賞
- モノクロ最高作品賞「袋小路」組 海野隆  
次点「人の世」組 関岡昭介
- カラー最高作品賞「洛陽の河川敷」組 中井祥二  
次点「よし子よわむし夕やけ小やけ」組 関岡昭介
- \*会員の個展
- ・加茂栄三「奈良の古道を行く」 奈良・ラ・ポーラ奈良 11/16~11/22
- ・中村泰三「セリグラフ」 大阪・池田市立ギャラリー 11/19~11/24
- ・福森白洋「大正のロマン・プロムオイルの世界」大阪・コダックフォトサロン

### 昭和 63 年(1988 年)

- \*第 67 回浪展 10 月 6 日~10 月 11 日 大阪・心齋橋ビルゼンギャラリー
- \*浪展浪華賞 該当作品なし
- \*最高作品賞
- モノクロ最高作品賞 該当作品なし  
次点「市井の人」組 寺井次郎(上・下半期 2 作品)  
○カラー最高作品賞 「X デー」組 稲葉一栄  
次点「此岸」組 藤原一
- \*会員の個展
- ・津田洋甫「水の詩」  
横浜・高島屋アートギャラリー 4/14~4/19  
主催/朝日新聞社
- 大阪・梅田大丸ミュージアム(有料)  
8/17~8/29 主催/朝日新聞社

奈良橿原・近鉄百貨店催会場(有料) 9/30~10/5 主催/朝日新聞社

- ・関岡昭介「運河彷徨」 大阪・コニカフォトギャラリー 4/26~5/2
- ・関岡昭介「海風前線」 東京・新宿ニコンサロン 8/23~9/5
- ・加茂栄三「奈良の古道をゆく」 奈良シルクロード博会場 6/28~7/4
- ・「小石清と浪華写真倶楽部展」 神戸・兵庫近代美術館 6/17~8/6
- 東京・池袋西武アートギャラリー 8/12~8/31
- ・浪華の女 3 人展「大阪点描」稲葉一栄、松本久子、桜井智子
- 大阪・梅田ミノルタフォトスペース 1/5~1/13
- 東京・新宿ミノルタフォトスペース 3/15~3/22
- その他、名古屋・広島ミノルタフォトスペース
- ・続浪華の女 3 人展「それぞれの旅」田葉とみ子、佐藤順子、坂本京子
- 大阪・梅田ミノルタフォトスペース 12/3~12/12
- \*会員の写真集
- ・津田洋甫写真集『水の詩』朝日新聞社刊

### 昭和 64 年・平成元年(1989 年)

- \*第 68 回浪展 10 月 5 日~10 月 10 日 大阪・心齋橋ビルゼンギャラリー
- \*浪展浪華賞 該当作品なし
- \*最高作品賞
- モノクロ最高作品賞 該当作品なし  
次点「ゲーム」組 桜井智子、「恋は水色」組 宇間神亀
- カラー最高作品賞 該当作品なし  
次点「佃島かいわい」組 佐藤順子、「旅日記」組 樋浦基
- \*会員の個展
- ・加茂幸彦「銀河鉄道の・・・・・・」  
東京・新宿キャノンサロン 1/9~1/19
- 大阪・梅田キャノンサロン 2/23~3/1
- 長崎・佐世保ポーラギャラリー 8/29~9/3
- ・加茂栄三「奈良の古道を行く」 3/21~3/30
- 神戸・テクラギャラリー 3/31~4/9
- ・関岡昭介「泥の河」 神戸・テクラギャラリー 3/31~4/9
- ・関岡昭介「海風前線」 大阪・大阪府立現代美術センター 5/15~5/20
- ・関岡昭介「あねさんろっかく一京都私景」 大阪府立現代美術センター 5/15~5/20
- ・寺井次郎「市井の人」  
大阪・梅田キャノンサロン 5/18~5/24
- ・高田誠三「四季彩競」  
東京・富士フォトサロン 5/19~6/1
- 大阪・富士フォトサロン 6/23~6/29
- ・中村泰三「ポストリゼーション&セリグラフ」  
大阪・梅田ミノルタフォトスペース 7/22~8/1
- ・津田洋甫「水の詩」  
長崎・大丸長崎店イベントホール(有料) 11/19~11/24
- ・続浪華の女 3 人展「それぞれの旅」田葉とみ子、佐藤

順子、坂本京子  
東京・新宿ミノルタフォトスペース 2/28~3/13  
・浪華の男3人展「出会いの時」池上輝、樋浦基、中井祥二  
大阪・梅田ミノルタフォトスペース 9/26~10/9  
東京・新宿ミノルタフォトスペース 10/28~11/6

## 平成2年(1990年)

\*浪展 EXPO 90「花博・浪展」大阪・鶴見緑地 花の万博会場  
6/1~6/15 花博写真美術館フォトギャラリー 出展者30名  
\*第69回浪展 10月4日~10月9日 大阪・心斎橋ピルゼンギャラリー  
\*浪展浪華賞 該当作品なし  
\*最高作品賞  
○モノクロ最高作品賞 該当作品なし  
次点「なわばり」組 大石啓雅、「なにわ物語」組 寺井次郎  
○カラー最高作品賞「雪の古道を行く」組 加茂栄三  
次点「河内ふるさと90」組 中藤譲  
\*会員の個展  
・津田洋甫「水の詩」 鳥取・鳥取大丸催会場(有料) 3/8~3/16 主催/朝日新聞社  
神戸・須磨大丸サロン(有料) 2/23~3/1 主催/朝日新聞社  
・海野隆「アメリカ・AMERICA」  
東京・新宿ミノルタフォトスペース 7/10~7/23  
大阪・梅田ミノルタフォトスペース 8/25~9/3  
・加茂栄三「四季・ファンタジア」  
大阪・本町ミノルタコミュニケーションプラザ 7/2~8/10  
・関岡昭介「metal scape」  
東京・銀座コダックフォトサロン 10/17~10/23  
・一現代日本写真作家展一  
「花と緑と自然」高田誠三 花博写真美術館 4/1~5/31  
津田洋甫 花博写真美術館 8/1~9/30  
\*会員写真集  
・津田洋甫『水色の風』ぎょうせい刊  
・海野隆『アメリカ・AMERICA』光村原色版印刷所版

## 平成3年(1991年)

\*第70回浪展  
第70回記念展 3会場同時開催  
第1会場 キャノンサロン 10/24~10/30  
出品者 海野隆、久保誠与志、佐藤順子、辻一嘉、寺井次郎、中村泰三、布施雅隆、古市真一、岡本美知子、中藤譲  
第2会場 富士フォトサロン 10/25~10/31  
出品者 宇間神亀、大石啓雅、加茂幸彦、教村明子、坂本京子、桜井智子、武下風伯、田葉とみ子、那須弘資、西端正典、畑中晃宏、松本久子、山口勝、加茂栄三、関岡昭介、津田洋甫  
第3会場 ミノルタフォトスペース 10/25~11/1  
出品者 伊ヶ崎光雄、稲葉一栄、坂本正勝、林俊夫、樋浦基、藤原一、最上和子、高田誠三、中森三弥、田中正親  
\*写真集 第70回浪展記念・浪華写真倶楽部写真集『浪』

平成3年10月16日発行  
\*浪展浪華賞 「鴉」組 宇間神亀  
\*最高作品賞  
○モノクロ最高作品賞 該当作品なし  
次点「鳥瞰都市」組 大石啓雅、「神々の島」組 西端正典  
○カラー最高作品賞「陰のある街」組 宇間神亀  
次点「湖国点描」組 坂本京子  
\*会員の個展  
・佐藤順子「残生」 神戸テクノギャラリー 3/11~3/20  
・中森三弥「花ごのみ」 大阪・本町ミノルタコミュニケーションプラザ 5/7~5/31  
・中藤譲「河内ふるさと」 東京・新宿ミノルタフォトスペース 7/9~7/22  
大阪・梅田ミノルタフォトスペース 8/3~8/9

## 平成4年(1992年)

\*第71回浪展  
9月7日~9月12日 大阪府立近代美術センター  
\*浪展浪華賞 該当作品なし  
\*最高作品賞  
○モノクロ最高作品賞 該当作品なし  
次点「都市私景」組 佐藤順子、「幻夢」組 加茂幸彦  
○カラー最高作品賞「白い風」組 桜井智子  
次点「河内路線図」組 中藤譲  
\*会員の個展  
・加茂栄三「神眠る山・比婆山系の四季」  
新宿ミノルタフォトスペース 2/25~3/9  
大阪・梅田ミノルタフォトスペース 5/8~5/15  
広島ミノルタフォトスペース 6/8~6/26  
・関岡昭介「大阪まんだら」  
東京・銀座ニコンサロン 3/31~4/6  
大阪・梅田ニコンサロン 8/15~8/26  
・関岡昭介「メタルスケープ」  
大阪・梅田ペンタックスフォーラム 5/21~6/3  
・中村泰三「欧羅巴だより」市民ギャラリー池田 4/2~4/7  
・佐藤順子「残生」 大阪・文情アートフォーラム 7/16~7/31  
・中藤譲「河内ふるさと」大阪・文情アートフォーラム 7/25~8/18  
・津田洋甫「水の詩」奈良市写真美術館 9/1~9/27  
ホテル三楽荘グレースギャラリー (和歌山白浜) 12/2~1/8  
・本庄光郎「ヌード・スペースタイム」大阪・梅田ミノルタフォトスペース 5/8~5/15  
\*会員の写真集  
・本庄光郎「ヌード・スペースタイム」東方出版刊

## 平成5年(1993年)

\*第72回浪展  
10月15日~10月21日 富士フォトサロン  
\*浪展浪華賞 該当作品なし  
\*最高作品賞  
○モノクロ最高作品賞 該当作品なし  
次点「平々凡々日々是好日」組 樋浦基、「ZONE」組 樋浦基  
○カラー最高作品賞 該当作品なし  
次点「冬の旅」組 坂本京子、「出雲国風土記」組 加茂栄三

\* 会員の個展

- ・本庄光郎「ヌード・スペースタイム」  
ミノルタフォトスペース新宿
- ・加茂栄三「神眠る山・比婆山系の四季」  
JR 大阪セルビスギャラリー 3/2~3/14
- ・高田誠三「彩々流転」  
JR 大阪セルビスギャラリー 5/1~5/14

平成 6 年(1994 年)

\* 第 73 回浪展

90 周年記念展(有料) 12 月 9 日~12 月 21 日  
会場・京阪百貨店守口ギャラリー・オブ・アーツ・ア  
ンドサイエンス  
後援/日本経済新聞社 テレビ大阪  
協賛/富士写真フィルム(株) 他写真関係各社

\* 記念図録の発行

\* 浪展浪華賞 該当作品なし

\* 最高作品賞

○モノクロ最高作品賞 該当作品なし

次点「下町からのメッセージ」組 那須弘資、「真・  
2 才・夏」組 樋浦基

○カラー最高作品賞 該当作品なし

次点「ファッションショー」組 教村明子、「ラ・マ  
ンチャ」組 田葉とみ子

\* 会員の個展

- ・中村泰三「フランス紀行」 市民ギャラリー池田  
4/2~4/7
- ・中森三弥「花ごのみ」 大阪・梅田 富士フォトサロ  
ン 4/8~4/13
- ・津田洋甫「シンフォニー 大地の詩」  
東京・大丸ミュージアム(有料) 7/28~8/29 主催/  
朝日新聞社  
大阪・大丸ミュージアム(有料) 8/17~8/29 主催/  
朝日新聞社  
\* 会員の受賞 中森三弥 日本写真協会功労賞 6 月 1  
日(写真の日)

\* 会員の写真集

- ・津田洋甫『シンフォニー 大地の詩』『出会の一瞬 光・  
樹』光村推古書院刊
- \* 作品収蔵 津田洋甫「四季百樹の詩」100 作品を奈良  
市写真美術館へ。

平成 7 年(1995 年)

\* 90 周年記念展を奈良市写真美術館にて開催  
1/5~2/12

\* 最高作品賞

○モノクロ最高作品賞 該当作品なし

次点「1995・夏・真 3 才」組 樋浦基「鉄道旅行 1995」  
組 樋浦基

○カラー最高作品賞 「町・気色・Ⅲ」組 松本久子  
次点「彩色された街」組 那須弘資

\* 会員の個展

- ・田葉とみ子「季節の中で」 ギャラリー PHOTO  
PLAZA 堺 10/16~11/4
- ・津田洋甫寄贈記念展「四季百樹の詩」(冬・春の部) 奈  
良市写真美術館
- \* 会員の写真集  
・津田洋甫『出会の一瞬 水・花・撫』光村推古書院刊  
・津田洋甫『出会の一瞬 水・花』フォト CD 十写真  
集を日本で初めて発行 光村推古書院(株)フォント・

トゥー

- ・津田洋甫『シンフォニー大地の詩』 CD-ROM 写真  
集発行 イシイ(株)・(株)ダイナウェア
- \* 作品収蔵 津田洋甫「水の詩」106 作品を大阪府現代  
芸術文化センターへ。
- 津田洋甫のライフワーク第 2 部作品「水の詩」106 点が  
寄贈収蔵された。

平成 8 年(1996 年)

\* 第 74 回浪展

2 月 26 日~3 月 2 日 大阪府立近代美術センター

\* 浪展浪華賞「通りすぎた日々」組 桜井智子

\* 最高作品賞

○モノクロ最高作品賞 該当作品なし

次点「旅日記 96・5」組 樋浦基、「平々凡々日々好  
日 1996 夏」組 樋浦基

○カラー最高作品賞「幻夢(坂口安吾原作 サクラの花  
の満開の下より)」組 桜井智子

次点「大陸横断」組 田葉とみ子

\* 会員の個展

- ・中村泰三「ポストリゼーションによる~ヨーロッパ紀  
行~」 市民ギャラリー池田 4/1~4/9
- ・那須弘資「街の貌」  
ギャラリー PHOTO PLAZA 堺 4/15~5/2
- ・加茂栄三「出雲風土記の世界」  
富士フォトサロン 大阪 4/26~5/2
- ・佐藤順子「阿波人形、共に生きて」  
徳島県勝浦町農村改良センター 10/4~10/6
- ・佐藤順子「From Memory」  
キャノンサロン大阪梅田 11/21~11/27
- \* 会員の写真集  
・津田洋甫『出会の一瞬 霧・滴・空』光村推古書院  
刊
- ・津田洋甫『一期一会』求龍堂刊
- ・津田洋甫『四季の詩』CD-ROM 写真集発行(株)デイ  
ザイン
- \* 会員の受賞 津田洋甫が紺綬褒章並びに賞杯

平成 9 年(1997 年)

\* 第 75 回浪展 6 月 9 日~ 6 月 14 日 大阪府立近代美  
術センター

\* 浪展浪華賞 該当作品なし

\* 最高作品賞

○モノクロ最高作品賞「流れの中で(神戸二宮小学校廃  
校)」組 佐藤順子

次点「昔のババ 今のボク」組 加茂幸彦

○カラー最高作品賞「好日 1997」組 桜井智子

次点「さんざめき」組 桜井智子

\* 会員の個展

- ・関岡昭介「春風風来」 大阪ニコンサロン 9/25~10/7
- ・桜井智子「MIDORI In Summer」  
ニコンプラザミニギャラリー 8 月
- ・八木迪夫「ロシアの新しい風」  
ニコンプラザミニギャラリー 11/27~12/9
- \* 会員の写真集  
・津田洋甫『出会の一瞬 風・輝』『原生花園』  
光村推古書院刊
- ・津田洋甫『ふるさと讃歌』 奈良県大塔村刊
- ・加茂栄三『出雲国風土来記』 松江今井書店刊



## 平成 10 年(1998 年)

- \* 第 76 回浪展 4 月 24 日~4 月 30 日  
富士フォトサロン大阪
- \* 浪展浪華賞 該当作品なし
- \* 最高作品賞
- モノクロ最高作品賞「神戸そして今」組 佐藤順子・  
次点「朱の忌憚祭」組 加茂幸彦
- カラー最高作品賞 該当作品なし  
次点「丹波路の秋」組 坂本京子・
- \* 会員の個展
- ・津田洋甫「シンフォニー 大地の詩」  
7/28~8/3 ホテル石庭(山梨石和) 有料  
主催/フジ企画
- ・酒井平八郎「ヨーロッパ小紀行」  
ニコンプラザミニギャラリー 8/20~9/1
- ・松本久子「町・気色」  
ミノルタフォトスペース新宿 3/3~3/16  
ミノルタフォトスペース大阪 3/27~4/2
- ・佐藤順子「犬養村農村舞台と阿波の人形芝居」  
徳島市シビックセンター 4/29~5/1
- ・桜井智子「土の匂いに誘われて」  
ミノルタフォトスペース大阪 9/4~9/10  
大阪府豊能町立図書館ギャラリー 9/16~9/29
- ・八木迪夫「不思議の国インドーその光と陰ー」  
ニコンプラザミニギャラリー 1/8~1/20
- ・八木迪夫 サロン展「ロシア紀行ーモスクワ・サンクト  
ペテルブルグ」 在大阪ロシア領事館 3/19
- ・加茂栄三「今に生きる神の国々-出雲の国探訪」  
埼玉県大宮市ギャラリー・コーナー
- \* 会員の写真集
- ・高田誠三『高田誠三完全版』 シンク版
- ・津田洋甫『出会の一瞬 海・道』 光村推古書院刊

## 平成 11 年(1999 年)

- \* 第 77 回浪展 6 月 7 日~6 月 12 日  
大阪府立現代美術センター
- \* 浪展浪華賞 該当作品なし
- \* 年度賞
- 最高作品賞「RINKU」組 加茂幸彦 次点「Shall we  
dance?」組 上条恵子
- \* 会員の個展
- ・中村泰三「イタリア旅情」出版記念原画展  
丸善心斎橋店ギャラリー 2/2~2/6
- ・関岡昭介「LIVE 大阪 1997~1998」  
銀座ニコンサロン 3/2~3/8  
大阪ニコンサロン 5/6~5/18
- ・加茂栄三「出雲国風土記の世界と作家活動 30 年の軌  
跡」泉佐野市泉の森ホール・ギャラリー 1/8~1/10
- ・桜井智子「土の匂いに誘われて」  
ミノルタフォトスペース新宿 5/6~5/17
- ・桜井智子「しあわせの日々」  
新宿ニコンサロン 6/22~6/28
- ・八木迪夫「不思議の国インドーその光と陰ー」  
ニコンプラザミニギャラリー 1/8~1/20
- ・八木迪夫 サロン展「ロシア紀行ーモスクワ・サンクト  
ペテルブルグ」 在大阪ロシア領事館 3/19
- \* 会員の写真集
- ・津田洋甫写真集全 10 巻のうち  
『にちりん 光は東方より』『はるいろ』『なついろ』『あ  
きいろ』『しらかば』『やくすぎ』 東方出版刊

- ・中村泰三『イタリア旅情』岩崎美術社刊

## 平成 12 年(2000 年)

- \* 第 78 回浪展 10 月 16 日~10 月 21 日  
大阪府立現代美術センター
- \* 浪展浪華賞 該当作品なし
- \* 年度賞
- 最高作品賞 該当作品なし  
次点「おばけ大会」組 田葉とみ子、「金沢発 夢の  
あと」組 加茂幸彦
- \* 会員の個展
- ・高田誠三「形彩賛歌」  
ナニワ商会ギャラリー 4/6~4/18
- ・高田誠三「形彩讃々」  
梅田キャノンサロン 8/1~8/11  
キャノン移転オープン記念展
- ・高田誠三「形彩讃々」  
キャノン幕張フォトアートギャラリー 10/2~12/1
- ・津田洋甫「水の詩」  
リーガロイヤルホテルギャラリー
- ・津田洋甫「シンフォニー 大地の詩」  
リーガロイヤルホテル 主催/リーガロイヤルホテル  
新世紀を迎えて特別イベント  
会場/「菊の間」2000/12/30~2001/1/3
- \* 会員の写真集
- ・津田洋甫『ふゆいろ』『からまつ』 東方出版刊

## 平成 13 年(2001 年)

- \* 年度賞
- 最高作品賞「宇宙のかなたへ」組 田葉とみ子  
次点「さつきの空」組 藤原一
- \* 会員の個展
- ・津田洋甫「シンフォニー 大地の詩」  
横浜高島屋「薔薇の間」10/3~10/7  
主催/神奈川新聞社
- ・安積祝子「太古の記憶」  
ミノルクフォトスペース大阪 5/17~5/24
- \* 会員の写真集
- ・津田洋甫『にちりん 光は西方へ』 東方出版刊

## 平成 14 年(2002 年)

- \* 第 79 回浪展 6 月 17 日~6 月 22 日  
大阪府立現代美術センター
- \* 浪展浪華賞 該当作品なし
- \* 年度賞
- 最高作品賞「チンチン電車の音に誘われて」組 西端  
正典  
次点「雪物語」組 田葉とみ子
- \* 会員の個展
- ・中藤譲「葛城の辺」  
ミノルタフォトスペース東京 1/22~2/4  
ミノルクフォトスペース大阪 2/15~2/21
- ・桜井智子「しあわせの日々」  
大阪府立現代美術センター 6/3~6/8
- ・津田洋甫「大地の詩」  
大阪 REX ギャラリー 9/20~11/15
- \* 会員の写真集
- ・中藤譲『葛城の辺』 東方出版刊
- ・津田洋甫『なごさ』 東方出版刊

## 平成 15 年(2003 年)

\* 年度賞

○最高作品賞 該当なし

次点「上海街路」組 藤原一、「仙境の棚田」組

安積祝子、「上がりのない双六」組 藤原一、「行雲」組  
牛丸敏之

\* 会員の個展

- ・田葉とみ子「写真・俳句の母娘展 光の詩」  
ミノルタフォトスペース大阪 4/4~4/10  
ミノルタフォトスペース新宿 7/30~8/19
  - ・布施雅隆「まちの貌」  
ミノルタフォトスペース新宿 7/2~7/15  
ミノルタフォトスペース大阪 8/19~8/25
  - ・津田洋甫「なぎさ」  
大阪・京阪百貨店ギャラリー 8/7~8/18  
東京・富士フォトサロン 9/12~9/18
  - ・関岡昭介「大阪三昧 I 懐おもい」  
アートギャラリーふくしま 6/17~6/23
- \* 会員の写真集
- ・津田洋甫『日本の名景-渚』 光村推古院刊
  - ・田葉とみ子『母娘の写真句集 光の詩』  
光村推古院刊

## 平成 16 年 (2004 年)

\* 年度賞

○最高作品賞 該当なし

次点 「竹」組 牛丸敏之、「文永様石仏」組 安井仲雄

\* 会員の個展

- ・津田洋甫「なぎさ」  
名古屋・富士フォトサロン 1/15~1/21  
京都・富士フォトギャラリー 10/7~10/20
- ・伊ヶ崎忍「Varna-色-」  
銀座ニコンサロン 4/12~4/24  
大阪ニコンサロン 7/15~7/20
- ・安積祝子「天恵の水を讃う」  
富士フォトサロン 10/22~10/28

## 平成 17 年(2005 年)

\* 創立 100 周年記念行事

写真団体として日本最古の歴史を誇る浪華写真倶楽部は、今年 100 年を迎えた。明治 37 年(1904 年)1 月 9 日大阪に誕生し、以来 100 年にわたり消え去ることもなく、その間に幾多の優秀な作家を生み出し、写真界に寄与してきた。とくに、昭和初期の新興写真、前衛写真時代には福森白洋、安井仲治、花和銀吾、小石清等の傑出した作家が日本写壇をリードしたことは、現在再認識、再評価されているところからも証明されている。また、苦難に満ちた戦後も、その伝統は受け継がれ、一人一党の個性豊かな作家が続出して現在にいたっている。

津田代表始め実行委員会委員長の高田誠三、その他委員の努力の結果、100 周年記念に相応しい浪展の開催が下記の会場で行われることになった。

日本最古の写真団体の沿革を記すに当たり、筆者が入会した昭和 24 年以前は昭和 4 年発刊の会報を参考にすよりなく随分苦勞した。2 ヶ月かかって手書きであった。それ以降は復刊の会報や筆者自身が休会することなく在籍中なので満足のゆく記録となった。戦後復刊の会報は経済的な事情もあってまだ 25 号より発行してないが、編集に携わった会員各氏の労にも報いたく思う。吾が浪華の会員は職業的にはアマ、プロ混合であ

るが、作品第一主義を貫いていることが誇りである。今後この歴史がいつまで続くか知る由もないが、会員各氏はそれを誇りとして浪華の歴史を積み重ねていって欲しいと願う。

文責・津田(平成 4 年以後の記事は大石・藤原)

- \* 年度賞 最高作品賞「流水落下」田葉とみ子、次点賞「秋色に染まる」田葉とみ子
- \* 創立 100 周年記念
- ・記念浪展【大阪展】大阪守口百貨店ギャラリー 3 月 3 日~3 月 8 日  
【奈良展】奈良市写真美術館 9 月 2 日~9 月 25 日  
【東京展】東京都写真美術館 11 月 19 日~12 月 11 日
- ・記念図録『浪展』発行
- \* 会員の写真展  
津田洋甫 「四季百樹の詩」 奈良写真美術館  
伊ヶ崎忍 「Varna-色-」  
ニコンサロン/銀座・大阪

## 平成 18 年 (2006 年)

- \* 第 80 回展(創立 100 周年記念) 浪展賞  
浪華賞「えびすばし」酒井平八郎、  
「卍と西井と十字架と」藤原一  
特選「いのち」田葉とみ子、「樹景」牛丸敏之  
奨励賞「しんしんと、東大寺」白石恵子  
努力賞「仏」安井仲雄  
新人賞「水辺の景」慶卓造、「マキノ歳時記」上野泰子、  
「木霊 戸隠」石田恵美子、「タテゴトアザラシ/カナダ」寺田裕美、「大地の貌アメリカ・イエローストーン  
国立公園」田中視朗
- \* 年度賞最高作品賞「時の座標」那須弘資(プ)、次点賞  
「棚田」田中視朗(ス)
- \* 会員の写真展  
津田洋甫 「水の詩」  
大阪府立狭山池博物館 6 月 17 日~7 月 17 日  
寺田裕美 「旅その出会い Part II」  
リーガロイヤルギャラリー 7 月 4 日~7 月 16 日  
中辻正浩 「山の彩」  
富士フォトギャラリー 2 7 月 20 日~7 月 26 日

## 平成 19 年 (2007 年)

- \* 第 81 回「浪展」2 月 23 日(金)~3 月 1 日(木)  
富士フォトサロン/大阪
- \* 第 81 回浪展賞  
浪華賞「生きる」酒井平八郎  
特選「忘れられた浜辺」林俊夫、「氷晶華」慶卓造  
奨励賞「ファンタジー」川北孝司、「光と影(狭山池博物館)」脇田祐裕  
努力賞「湖畔」山口昌児、「月光」八尋大哉、  
新人賞「残照」中辻正浩、「白い季節」木村光代
- \* 年度賞最高作品賞「浅間山新雪」脇田祐裕、次点賞  
「刻の遊び」那須弘資
- \* 津田洋甫氏、6 月 1 日「写真の日」に日本写真家協会  
功勞賞受賞
- \* 会員の写真展  
牛丸敏之 「四季優游 Part II」  
富士フォトサロン/東京 9 月 14 日~9 月 20 日  
「四季優游 Part II」富士フォトサロン/大阪  
10 月 5 日~10 月 11 日

## 平成 20 年 (2008 年)

- \* 年度賞最高作品賞「終焉」田中視朗、次点賞「無心」田葉とみ子
- \* 会員の出版 「現役写真家津田洋甫 85 年の軌跡 いまを生きる」4月16日出版
- \* 会員の写真展  
津田洋甫 「水の詩 Part II」  
大阪府立狭山池博物館 2月23日～3月30日

#### 平成 21 年 (2009 年)

- \* 第 82 回「浪展」1月30日(金)～2月5日(木)  
富士フォトサロン／大阪
- \* 第 82 回浪展賞  
浪華賞「YODOGAWA」林俊夫  
特選「ご近所散策」大石啓雅、「静寂」牛丸敏之  
奨励賞「となりの町の」布施雅隆、「潤沢の秋」脇田祐裕  
努力賞「残月の光影」竹内由平、「四季めぐりて」石田美恵子、「幾星霜」坂上薫  
新人賞「feeling place」久保富美子、「ひとときの高野」奥村行仙、「神話夜話」寺本哲男
- \* 年度賞最高作品賞「モノローグ」田葉とみ子、次点賞「見上げればいつも空とつながっている」久保富美子
- \* 会員の写真展  
津田洋甫 「一期一会」  
オリンパスギャラリー 4月10日～4月23日

#### 平成 22 年 (2010 年)

- \* 第 83 回「浪展」11月26日(金)～12月2日(木)  
富士フォトサロン／大阪
- \* 第 83 回浪展賞  
特選「光暈」大石啓雅、「アモーレ！イタリアーネ」久保富美子、「一緒に生まれたアキとネ子コ」寺本哲男  
奨励賞「フロースと・ロマネスク」慶卓造、「華のある風景」牛丸敏之、「大阪万華鏡」寺井次郎
- \* 年度賞最高作品賞「葬送の詩」林俊夫、次点賞「紳士の肖像」久保富美子

#### 平成 23 年 (2011 年)

- \* 年度賞最高作品賞「新なにわ人国記 II」布施雅隆、次点賞「囲われて」石田美恵子

#### 平成 24 年 (2012 年)

- \* 第 84 回「浪展」3月4日(金)～3月10日(木)  
富士フォトサロン／大阪
- \* 第 84 回浪展賞  
特選「幻想の壁」林俊夫、「なにわ絵草紙」布施雅隆  
奨励賞「巧」ファビオ・サルヴァーニョ、「刻を超えて」慶卓造、「野鳥に魅せられて」寺井次郎、「ストリーム」川北孝司  
努力賞「大地の鼓動・石灰華」田中視朗  
新人賞「Night Light」小山将史
- \* 年度賞最高作品賞「みちびき」ファビオ・サルヴァーニョ、次点賞「まちの絵巻」布施雅隆
- \* 会員の写真展  
・「猫カフェ寧估庵の集うクリエイター展」  
奈良町センター 4/29～5/6  
参加 吉川隆之、ファビオ・サルヴァーニョ、田葉とみ子

#### 平成 25 年 (2013 年)

- \* 年度賞 最高作品賞「刻の Lock」那須弘資、次点賞「浜辺の情景」久保富美子
- \* 会員の写真展

#### 平成 26 年 (2014 年)

- \* 年度賞 最高作品賞「彼女とはな」中村孝行、次点賞「取り残された記憶」小山将史
- \* 創立 110 周年記念第 85 回「浪展」  
1月17日(金)～1月23日(木) 富士フィルムフォトサロン／大阪  
記念誌「浪 II」発行 印刷製本株式会社 DNP マルチプリント
- \* 第 85 回浪展賞  
浪華賞「あの日の事…」布施雅隆、「夜光—シルエット」小山将史  
特選「倒木たちの肖像」林俊夫  
奨励賞「Madness」ファビオ・サルヴァーニョ、「荒海の浜辺」石田美恵子  
新人賞「錆色のアート」林順一郎、「peridot・窓辺・浸食」小豆澤ヒロ
- \* 会員の写真展  
・布施雅隆写真展「まちの貌 II」  
オリンパスギャラリー東京 2/6～2/12 大阪 2/27～3/5

#### 平成 27 年 (2015 年)

- \* 年度賞  
最高作品賞「閉ざされた空間」稲葉一栄、次点賞「104歳の映画館」石田美恵子
- \* 第 86 回「浪展」  
4月21日(火)～4月26日(日) 大阪府立江之子島文化芸術創造センター ルーム 4
- \* 第 86 回浪展賞  
特選「岩山の語らい」林俊夫、「出来事」布施雅隆、「都市を視る」稲葉一栄  
奨励賞「刻を重ねて」久保富美子、「町の記憶の重ね合い」ファビオ・サルヴァーニョ、「白華」小山将史、「甚五」小豆澤ヒロ  
新人賞「抑圧」中村孝行、「ミラー彩々」古川信子
- \* 写真家「津田洋甫の軌跡」写真展  
オリンパスギャラリー大阪 10/23～11/5

#### 平成 28 年 (2016 年)

- \* 年度賞  
最高作品賞「Young town」稲葉一栄、次点賞「so cool」稲葉一栄
- \* 第 87 回「浪展」4月19日(火)～4月24日(日)  
大阪府立江之子島文化芸術創造センター ルーム 4
- \* 第 87 回浪展賞  
特選「美しい国、日本～棚田より～」慶卓造  
奨励賞「Venezia-Fammenti」ファビオ・サルヴァーニョ、「105歳の映画館」石田美恵子  
新人賞「嫉妬」上田幸作

#### 平成 29 年 (2017 年)

- \* 年度賞  
最高作品賞「崩壊村落」林俊夫、次点賞「変貌(梅北夕日の刻)」林俊夫
- \* 第 88 回「浪展」5月16日(火)～5月21日(日)  
大阪府立江之子島文化芸術創造センター ルーム 4

- \* 第 88 回浪展賞  
特選「『 』」中村孝行  
奨励賞「終わりしときの標に」小豆澤ヒロ、「淀川堤」安井仲雄、「異邦人」稲葉一栄、「流れの記憶」林俊夫

### 平成 30 年 (2018 年)

- \* 年度賞  
最高作品賞「片隅に生きる」布施雅隆,  
次点賞「北の空の下で」大石啓雅
- \* 第 89 回「浪展」 6 月 12 日 (火) ~6 月 17 日 (日)  
大阪府立江之子島文化芸術創造センター ルーム 4
- \* 第 89 回浪展賞  
奨励賞「吊いの森」佐藤豊、「淀川堤Ⅱ」安井仲雄、「ミサゴーダイナミックな穫り」寺井次郎、「小さな庭の訪問者」小原明男  
努力賞「{…}」中村孝行、新人賞「夢想」恒岡一郎、「四季めぐり」嶋田圭吾

### 平成 31・令和元年 (2019 年)

- \* 年度賞  
最高作品賞「暮れるまち」布施雅隆, 次点賞「明け行く里」林俊夫
- \* 創立 115 周年記念第 90 回「浪展」  
10 月 15 日 (火) ~10 月 20 日 (日) 大阪府立江之子島文化芸術創造センター4F  
10 月 29 日 (火) ~11 月 2 日 (土) 京都・堀川御池ギャラリー 1F / 2F  
2020 年 1 月 22 日 (水) ~1 月 26 日 (日) 兵庫県立原田の森ギャラリー東館
- \* 第 90 回浪展賞  
特選「人混み、喧噪、静寂、その動きには、物語が…」稲葉一栄  
奨励賞「なら、みず語り」嶋田圭吾、「美しい国、日本～桜～」慶卓造、  
「記憶のカケラ」ファビオ・サルヴァーニョ  
努力賞「野辺のいきもの」小原明男

### 令和 2 年 (2020 年)

- \* 年度賞  
最高作品賞「閉ざされて」林俊夫,  
次点賞「残照の町」布施雅隆
- \* 第 91 回「浪展」12 月 15 日 (火) ~12 月 20 日 (日)  
大阪府立江之子島文化芸術創造センター1F
- \* 第 91 回浪展賞  
特選「雨の日には」稲葉一栄、「白崎海岸」小原明男、「道」嶋田圭吾、「Object」中村孝行

### 令和 3 年 (2021 年)

- \* 年度賞  
最高作品賞「陰りゆく」石田美恵子, 次点賞は作品数が少ないので選考せず。
- \* 第 92 回「浪展」10 月 19 日 (火) ~10 月 24 日 (日)  
大阪府立江之子島文化芸術創造センター1F
- \* 第 92 回浪展賞  
特選「大樹の源流」小原明男、「野鳥たち」寺井次郎、  
奨励賞「美しい国日本～桜～」慶卓造、「Object」中村孝行

### 令和 4 年 (2022 年)

- 最高作品賞「mado」小山将史, 次点賞「Underground

Passage 地下通路」小山将史

- \* 第 93 回「浪展」 10 月 18 日 (火) ~10 月 23 日 (日)  
大阪府立江之子島文化芸術創造センター1F
- \* 第 93 回浪展賞  
浪華賞「渦流の彫刻」小原明男  
奨励賞「Per le strade di Verona」Fabio Salvagno、  
「野鳥達」寺井次郎、  
奨励賞「美しい国日本～桜～」慶卓造、

### 令和 5 年 (2023 年)

- \* 年度賞  
最高作品賞「海拔 0 地帯」稲葉一栄,  
次点賞「黄色い傘がある町で」布施雅隆
- \* 第 94 回「浪展」 10 月 17 日 (火) ~10 月 22 日 (日)  
大阪府立江之子島文化芸術創造センター4F  
シュピーゲルと同時期、同会場で開催
- \* 第 94 回浪展賞  
浪華賞「雨の生まれる場所、神様のいる場所」嶋田圭吾  
特選「サン・ジェレミア」Fabio Salvagno  
奨励賞「野鳥達」寺井次郎、「entropy」中村孝行